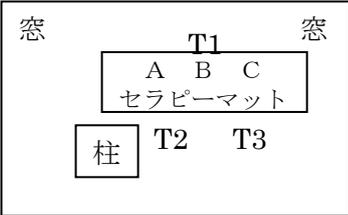
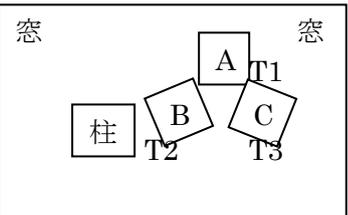


学習過程

時間	学習活動	指導上の留意点等	準備物															
1	1 あいさつをする。	・Cがあいさつを意識できるように、T3がCの手をトントンとリズムをとりながら話す。																
10	2 今日の学習について知る。	・学習内容が分かりやすいように、T1は教材の音を鳴らしながら伝える。児童生徒が葉や実の感触や匂いをじっくり感じられるように、テーブル上に乗せて提示する。	・葉や実															
15	3 葉や実を使って、感触遊びをする。 (1) 見てみよう (人・物とのかかわり)	・(1)の活動では、ビニールに葉や実を入れ、見えやすいようにセラピーマットに児童生徒3名と一緒に仰臥位になる。教材に対して児童生徒の自発的な動きが引き出せるように教師がゆっくり動かしたり、友達とかかわりやすいように「○○さんに渡すよ」等の言葉を掛けたりする。 ・(2)の活動では、各児童生徒が葉や実を見て触れやすいような姿勢を取り、一人ずつ活動する。気持ちの表出が見られたときには、他の教師や友達に様子を伝える。	・ビニール ・セラピーマット ・三角マット ・ボール ・洗面器 ・ペットボトル ・ビン ・皿 ・クッション ・タオル															
	配置図 (2階療育訓練室)																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>A (T1)</th> <th>B (T2)</th> <th>C (T3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(1)の場面</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 教材に触れるように手の動きを見ながら、教材の位置を調整する。 教材に触ったときには大いに称賛し、友達にも紹介する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 興味を高めるために、教材を提示した時に簡単な言葉で様子を伝えながら、揺らしたり音を出したりする。 教師が友達の名前を伝え、児童がビニールを渡したときには、大いに称賛する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自分から教材に手を伸ばしたときに、称賛する。教材が友達の方にあるとき、手を伸ばしたら、Cの気持ちを代わりに伝える。 </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(2)の場面</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 手で素材に触ったり、指を動かしたりできるように、素材を置く高さに気を付ける。 素材の発する音が気づくように、素材が入ったボールを揺らして音を出す。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 素材に手を伸ばし、動かせるように、入れ物の傾きや姿勢に気を付ける。 実の音を聞いて楽しむときに、握りやすいビンを使用する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 素材にじっくり触れられるように、入れ物にたくさん葉を入れる。また、口に入れないように、配慮する。 音の出るものが好きなので、皿やペットボトルを準備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	A (T1)	B (T2)	C (T3)	(1)の場面			<ul style="list-style-type: none"> 教材に触れるように手の動きを見ながら、教材の位置を調整する。 教材に触ったときには大いに称賛し、友達にも紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味を高めるために、教材を提示した時に簡単な言葉で様子を伝えながら、揺らしたり音を出したりする。 教師が友達の名前を伝え、児童がビニールを渡したときには、大いに称賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から教材に手を伸ばしたときに、称賛する。教材が友達の方にあるとき、手を伸ばしたら、Cの気持ちを代わりに伝える。 	(2)の場面			<ul style="list-style-type: none"> 手で素材に触ったり、指を動かしたりできるように、素材を置く高さに気を付ける。 素材の発する音が気づくように、素材が入ったボールを揺らして音を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 素材に手を伸ばし、動かせるように、入れ物の傾きや姿勢に気を付ける。 実の音を聞いて楽しむときに、握りやすいビンを使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 素材にじっくり触れられるように、入れ物にたくさん葉を入れる。また、口に入れないように、配慮する。 音の出るものが好きなので、皿やペットボトルを準備する。 	
A (T1)	B (T2)	C (T3)																
(1)の場面																		
<ul style="list-style-type: none"> 教材に触れるように手の動きを見ながら、教材の位置を調整する。 教材に触ったときには大いに称賛し、友達にも紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味を高めるために、教材を提示した時に簡単な言葉で様子を伝えながら、揺らしたり音を出したりする。 教師が友達の名前を伝え、児童がビニールを渡したときには、大いに称賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から教材に手を伸ばしたときに、称賛する。教材が友達の方にあるとき、手を伸ばしたら、Cの気持ちを代わりに伝える。 																
(2)の場面																		
<ul style="list-style-type: none"> 手で素材に触ったり、指を動かしたりできるように、素材を置く高さに気を付ける。 素材の発する音が気づくように、素材が入ったボールを揺らして音を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 素材に手を伸ばし、動かせるように、入れ物の傾きや姿勢に気を付ける。 実の音を聞いて楽しむときに、握りやすいビンを使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 素材にじっくり触れられるように、入れ物にたくさん葉を入れる。また、口に入れないように、配慮する。 音の出るものが好きなので、皿やペットボトルを準備する。 																
10	(2) 触ってみよう・聞いてみよう (物とのかかわり)																	
																		
8	4 好きな素材を選び、紙粘土につけて、発表する。 (人・物とのかかわり)	・児童生徒が選べるように、活動中に気に入った素材を見せる。	・紙粘土 ・作品															
1	5 あいさつをする。	・これまでの学習時間に発表した作品を提示し、まとめをする。 ・Bが「～ます」と声を出してあいさつをしやすいように、教師が「これで学習を終わり～」と言葉を掛ける。																

(4) 評価

〈児童生徒〉・落ち葉やどんぐり等の実の音や動き、友達の様子に気付き、視線をむけたり手を伸ばしたり、声を出したりすることができたか。

〈教師〉・児童生徒が興味を持てるような教材を提示できたか。

・児童生徒の表情の変化に気付き、的確な言葉で返していたか。